編集後記

先日、初めて歌舞伎を見に行きました。
歌舞伎座さよなら公演です。「さよなら公演」と聞くと数か月後にはなんとかの「さよなら」があるように思えますが、この「さよなら」は老朽化した歌舞伎座を建て替えることによる「さよなら」で、建て替えは平成22年の4月、一年以上先のことなのです。歌舞伎座の建て替えはニュースにもなっており、大事な歴史のチャンス、とばかりに一周年以上のさよなら公演を企画する姿勢には感服いたします（皮肉ではありません）。図書館の場合、耐震工事開閉までの一年半「さよなら○○」で何か企画できるか、と5秒ほど考えてみましたが、楽しげなアイディアがありませんでした。何か思いつかれた方、実行されている方、ぜひお知らせください。

さて、その歌舞伎ですが、まったく予備知識を持っていなくても、4時間近くの上演時間、たっぷりと楽しめました。セリフや「度々はう」（というか声の部分等）がわからないところもありましたが、そういったところをフォローする「イヤホンガイド」というものもあります。あらすじや配役、オフショットなどを舞台に合わせて解説してくれるから、ぜひ借りると意識払いつながっていたのです。開演ぎりぎり（うそです。本当は開演数分後です）に駆け込むというマナー違反をしたため、借りることと決まらなかった。せっかくの歌舞伎観劇！ということで、ダンスのこやしとなっている着物をひっぱりだしてきましたが、久々すぎて着付けに想定以上の時間がかかったのです。雨もふっていなかったため、かなりカジュアルな着物ながらも後悔しない程の着物、時間がないため半幅帯（普通の帯の半分の幅の簡単な帯です）という着です。それでもほとんど「着物で歌舞伎観劇」という余談は残っている、と思ったのですが、さすが歌舞伎座、かなり素敵な着物を着た人々が様々ももたらしてくれたのです。次はもっとちゃんとコーディネートで！と決意し、初めての歌舞伎観劇は終了したのですね。

「情報の科学と技術」編集委員会

委員長
野田 実明（千葉大学附属図書館）

委員
川瀬 直人（国立国会図書館）
小山 信弥（関東学院大学図書館）
鈴木 劉（早稲田大学図書館）
松原 雅（中部大学附属三浦記念図書館）
吉田 幸苗（東京大学情報基盤センター）
会誌編集協力員
稲葉 洋子（大阪大学附属図書館）
岡 紀子（株）住化技術情報センター
事務局 田村 紀光

THE JOURNAL OF INFORMATION SCIENCE AND TECHNOLOGY ASSOCIATION
情報の科学と技術 JOHO NO KAGAKU TO GIJUTSU
Vol.59 No.6 2009
定価 1,743 円（本体 1,660 円、税 83 円）（月刊）
2009年6月1日発行
発行人 立花 晋
発行所 社団法人 情報科学技術協会
112-0002 東京都文京区小石川2丁目5-7 佐佐木ビル内
電話 (03)3813-3791
Fax (03)3813-3793
E-mail：infofa@infofa.or.jp
URL http://www.infofa.or.jp/
印刷所 昭和情報プロセス株式会社

●本誌を引用される方は、2007年1月発行の57巻1号から、「情報の科学と技術」に掲載された原稿（以下「著作物」という）については、その著作権は執筆者に帰属します。
情報科学技術協会は、著作物を会誌「情報の科学と技術」（オンライン版を含む）の記載として排他的に出版する権利を有します。
個人は、著作物を私的利用のために、紙、電子的なメディア、またはその他のメディアに複製することができます。なお、過去分の複製利用についても、上記の条件に従って適正に使用してください。
その他、詳細な著作権規定は情報科学技術協会のホームページをご覧下さい。なお、不明な点は協会までお問い合わせください。